



# 神奈川歯科大学附属病院

## ニュースレター

2024年5月1日発行 12号

### 歯科医師法の改正・施行

病院長 井野 智

本年4月、歯科医師法改正・施行となり、第17条「歯科医師でなければ歯科医療をしてはならない」から「**歯学生が、大学の臨床実習において、歯科医師の指導監督の下に、歯科医業をすることができる**」へと、明記されました。もちろん、登院時には共用試験に合格して知識・技能が担保されていることや、処方箋の発行ができないことなど、細かい条件はありますが、今まで、ずっとグレーゾーンの中で対応せざるを得なかった診療参加型臨床実習は、大きな前進を遂げたといっても過言ではありません。歯科医学臨床教育に携われた先人たちの努力の賜物と感謝するとともに、“質の高い歯科医師養成のため”という国民からの負託に背かぬよう、教員としての責任の重さを実感しているところです。病院長として5年目となります。今年度も引き続き宜しくお願い申し上げます。

将来の歯科医療を担う歯科医師を育てるために  
**歯学生の臨床実習にご協力ください**



よりよい歯科医師になるためには、講義だけでなく、診療チームの一員として実際の患者さんを診療し学ぶこと（臨床実習）が必要です。

歯科医師法改正により、令和6年4月1日から公的化された「共用試験」に合格した歯学生が、歯科医師の指導監督の下、臨床実習を行います。

(※共用試験：臨床実習を開始する前に修得すべき知識と技能を評価するために、国が歯科医師法等に基づき指定した公益社団法人 歯科大学臨床実習評価機構が実施する学科と実技の試験)

**歯学生が歯科医師となるために必要な知識と技能を修得できますよう、ご理解とご協力をお願いします。**

お気づきの点がございましたら、患者相談窓口等にご相談ください。  
病院長 / 院長

作成：  文部科学省  厚生労働省

後援： 歯科大学学長・歯学部長会議、歯科大学学部長・歯学部附属病院院長会議、日本私立歯科大学協会、日本歯科医師会、日本歯科医学会、医療系大学臨床実習評価機構、日本歯科医学教育学会



## 新診療部科長の紹介

### 顎・口腔インプラント科 教授 黒田真司



口腔インプラント治療とは何をするための治療なのでしょう？メインは欠損補綴です。つまり喪失した歯の substitute（代用品）として異物である人工歯を製作する治療です。この異物は生体親和性であり、多岐にわたる interdisciplinary medicine（異分野提携医療技術）の上に成り立っております。口腔インプラント治療は欠損補綴のツールとしてのひとつですが、患者さんの QOL が回復または向上するのであれば、digital transformation など医療技術をふんだんに使用すべきです。

私は 1995 年に歯科医師となり臨床を開始したのが顎義歯補綴分野でした。その診察・検査・診断・治療計画を学んだ経験は、欠損補綴治療である部分床義歯、冠橋義歯、そして後に私の専門治療となる口腔インプラント治療に大きく活かされています。口腔インプラント治療では、(1) 自家骨あるいは骨補填材を用いた水平的・垂直的骨造成の必要性、(2) 無歯顎あるいは多数歯欠損症例にインプラントを埋入し、固定性補綴装置（単冠、連結冠、ブリッジ）の製作あるいは可撤性補綴装置（IOD: implant-supported overdenture、IARPD: implant-assisted removable partial denture）の製作の判断が重要です。時間経過や加齢などで残存歯喪失による機能・審美の後退が進んだ口腔に対し、固定性補綴装置から支持・維持・把持に優れる可撤性補綴装置へ移行することにより口腔機能・審美の回復・向上が可能となりますので、この醍醐味を患者さんに伝え、患者さんが長期的に安心できる口腔インプラント治療を提供していきたいです。

略歴 1995年3月 東京医科歯科大学 歯学部 卒業  
1999年3月 東京医科歯科大学 大学院歯学研究科 修了 博士(歯学)取得  
2000年4月 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 助教  
2001年11月～2003年10月 米国イリノイ州シカゴ RUSH University Postdoc  
2007年2月 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 講師  
2022年4月～2024年3月 北海道大学病院 准教授  
2024年4月 神奈川歯科大学 歯学部 教授（今に至る）

### 補綴科 接着器材診療部門 教授 二瓶智太郎



接着器材診療部門は保存治療や補綴治療を幅広く行いながら、一般社団法人日本歯科理工学会称号認定の Dental Materials Senior Adviser が、う蝕（虫歯）や実質欠損に対しての充填処置、あるいはクラウン、ブリッジ、可撤式の義歯などによる治療において患者様に適した材料を選択・提示し、治療を進めることが主な業務としてしています。最近では、歯科用 CAD/CAM システムの発展により、様々な材料が加工できるようになり、より患者様に適した安全な材料を選択し、さらに口腔内に装着する際には接着技術を専門的に治療に取り入れて推進する診療科となります。なお、本診療部門は一般社団法人日本接着歯学会の専門医認定研修施設となっています。

自分の口の中に入る装置の材質について疑問をお持ちの患者様がいらっしゃいましたらご相談いただければと存じます。

#### 略歴

1991年3月 神奈川歯科大学歯学部卒業  
2003年9月 博士(歯学)取得  
2005年9月 長期海外派遣研究員：ミュンヘン大学歯学部  
2017年4月 クリニカル・バイオマテリアル学分野教授（～現在に至る）  
2023年4月 神奈川歯科大学副学長（～現在に至る）



## 口腔外科 教授 安部貴大



この度、4月より口腔外科診療科長を拝命致しました。何卒宜しく願いを申し上げます。口腔外科は外来診療のほか、入院患者を扱う診療科として、日頃の運営には多大なご協力をいただいておりますこと心より深謝申し上げます。口腔外科疾患は非常に多岐にわたり、その対応も多様化しておりますが、日々研鑽を重ね、患者様の口腔の健康に寄与できますよう、適切かつ丁寧に対応して参りますので、何卒今後とも引き続きのご高配とご厚情をいただければ幸いです。

当科で取り扱う主な治療内容は、基礎疾患を有する方や埋伏歯などの難抜歯（入院下での静脈内鎮静や全身麻酔も可能です）、嚢胞・腫瘍の手術、顎変形症のチーム医療、顎顔面外傷・炎症性疾患の治療や、顎関節疾患、口腔粘膜疾患などのマネジメントが挙げられます。どうか、お気軽にお尋ねください。

また当科では2024年4月現在、日本口腔外科学会認定指導医4名、専門医6名を中心に、若手の育成にも注力しています。口腔外科疾患における幅広い知識と経験を有した口腔外科医が年々人材難の状況にある中、我々は、こうした課題にも真剣に取り組み、“本学から”世界で活躍できる口腔外科医を輩出できるよう尽力して参ります。

- ・日本口腔外科学会専門医・指導医
- ・日本顎関節学会専門医・指導医
- ・日本口腔科学会認定医・指導医
- ・日本口腔腫瘍学会暫定指導医
- ・日本再生医療学会認定医
- ・日本がん治療認定機構がん治療認定医（歯科口腔外科）・指導責任者

略歴：  
1998年 東京医科歯科大学歯学部卒業  
2002年 東京大学大学院医学系研究科、博士（医学）取得  
ミシガン大学医学部、産業技術総合研究所つばセンター、埼玉医科大学口腔外科および頭頸部腫瘍科、東京大学医学部口腔外科を経て  
2020年 口腔外科学分野教授  
2024年より分野長、診療部科長

## 放射線・診断部 技師長 藤井 学



2024年4月より放射線・診断部 放射線技師長を拝命いたしました藤井学と申します。

私たちの部門では、歯科口腔内の撮影をはじめ、人間ドッグ、CT、MRIなど歯科、医科の分野で幅広く撮影を行っています。担当技師も男性技師、女性技師が常駐しておりますので、女性やご高齢の方、お子様の撮影など様々な状況に合わせて、適切、安全な対応を心がけています。撮影や被曝に関してのご質問などございましたらお気軽にお申し付けください。放射線・診断部の技師メンバーも若いスタッフで構成されております。私自身がこれまで経験したこと、学んだことを最大限に生かし部のために役立てていく所存です。そうした積み重ねが、しいては患者さんへフィードバックできていると思っています。よろしくお願い致します。

略歴  
2012年3月 城西放射線技術専門学校卒業  
2012年4月 社会福祉法人湘南病院 入職  
2016年4月 神奈川歯科大学横浜クリニック 入職  
2017年7月 神奈川歯科大学附属病院へ異動  
2024年4月 神奈川歯科大学附属病院 放射線・技術部 技師長を拝命（～現在に至る）

お知らせ（人事異動）  
2024年3月末日付  
口腔外科教授 小林 優（定年退職）  
マイクロスコープ診療科教授 石井信之（定年退職、2024年4月から非常勤）

# 2024年度オープンセミナー予定表

日	時	所属・演者	講演タイトル
	1 2024年4月11日 17:15~18:00 (木)	補綴科 義歯診療部門 教授 井野 智	有床義歯難症例を攻略:下顎無歯顎にどう向き合うか
	2 2024年4月25日 17:15~18:00 (木)	矯正歯科 教授 山口 徹太郎	ご紹介いただいた患者さんを附属病院矯正歯科ではどのように治療させていただいているか。矯正歯科治療の進化とともに。
	3 2024年5月9日 17:15~18:00 (木)	画像診断科(医科) 診療科教授 池上 匡	認知症になりたくない人の診療始めました
	4 2024年5月23日 17:15~18:00 (木)	糖尿病・内分泌内科 教授 青木 一孝	歯科医のための糖尿病・内分泌内科学講座
	5 2024年6月13日 17:15~18:00 (木)	口腔外科 教授 安部 貴大	日常診療に役立つ口腔外科最新情報
	6 2024年6月27日 17:15~18:00 (木)	画像診断科(歯科) 診療科教授 泉 雅浩	歯科用コーンビームCTの基礎知識一遭遇しやすい疾患と異常所見の解釈一
	7 2024年7月11日 17:15~18:00 (木)	口腔外科 准教授 鈴木 健司	これって口腔外科に送るべき?口腔粘膜疾患の診断・治療の勘所~白斑病変~
	8 2024年7月25日 17:15~18:00 (木)	口腔外科(教育企画部) 准教授 沢井 奈津子	抗菌薬適正使用の最新一過去の常識は現在の非常識!一
	9 2024年8月8日 17:15~18:00 (木)	小児歯科 教授 木本 茂成	子どもの患者が来たら何を診る? 見過ごせない年齢別重要ポイント
	10 2024年8月22日 17:15~18:00 (木)	補綴科 義歯診療部門 特任講師 加々美太輔	私の必須アイテム「拡大鏡」について全てお話しします。
	11 2024年9月12日 17:15~18:00 (木)	補綴科 接着器材診療部門 准教授 大橋 桂	歯科接着材料のいろは
	12 2024年9月26日 17:15~18:00 (木)	保存科 歯周診療部門 講師 杉原 俊太郎	b-FGF製剤を用いた歯周組織再生療法の基本と臨床のポイント
	13 2024年10月10日 17:15~18:00 (木)	障がい者歯科 教授 小松 知子	地域で支える障がい者歯科医療の実践一医療的ケア児への対応一
	14 2024年10月24日 17:15~18:00 (木)	歯科麻酔科 講師 黒田 英孝	歯科における慢性疼痛治療の実際
	15 2024年11月14日 17:15~18:00 (木)	矯正歯科 准教授 小泉 創	小児期の歯並び、いつ治す?:矯正歯科への紹介時期と臨床的判断基準
	16 2024年11月28日 17:15~18:00 (木)	補綴科 クラウンブリッジ部門 講師 川西 憲繁	補綴治療に手をつけるその前に...
	17 2024年12月12日 17:15~18:00 (木)	腎臓内科 教授 橋本 達夫	医療のパラダイムシフト第2弾 ダメダメ指導からサポートへの転換
	18 2025年1月9日 17:15~18:00 (木)	補綴科 義歯診療部門 准教授 瀧野 奈穂	噛める義歯を目指して:設計の基礎知識
	19 2025年1月23日 17:15~18:00 (木)	全身管理高齢者歯科 教授 森本 佳成	「訪問歯科診療-全身管理のポイントとピットフォール」
	20 2025年2月13日 17:15~18:00 (木)	保存科 保存・修復診療部門 教授 向井 義晴	審美修復 基礎と実践
	21 2025年2月27日 17:15~18:00 (木)	顎・口腔インプラント科 教授 黒田 真司	インプラントと骨再生による欠損補綴
	22 2025年3月13日 17:15~18:00 (木)	保存科 歯内療法部門 准教授 武藤 徳子	全身管理と歯内療法の知って得する関係について

場 所：神奈川歯科大学附属病院 12 階講堂

参加費：無料（事前の申し込みも不要）

\* 当日は参加者確認のため Google フォームで参加確認を取らせていただきますので、スマートフォン等 QR コードが読み取れるものをご持参ください。

\* 日本歯科医師会 生涯研修制度の単位が取得できます。希望される先生は生涯研修カードあるいは携帯電話（QR コードの読取対応）をご持参ください。

オープンセミナーに関するお問合せ先：地域連携室 046-822-8877

発行元 〒 238-8570

横須賀市小川町 1-23

神奈川歯科大学附属病院 地域連携室

電話 046-822-8877 FAX 046-822-8888

<http://www.kdu.ac.jp/hospital/>

